

小学駅伝& ロードレース大会

11月23日、対馬市陸上競技協会主催、つしま中央ライオンズクラブ後援の第14回全島小学校駅伝大会、第18回対馬中央ロードレース大会が、峰町運動公園陸上競技場をスタート、ゴールにして開催されました。

小学校駅伝は、6区間11.2kmの男子の部に21チーム、同じく6区間10kmの女子の部には18チームが参加して行われました。ロードレースには、小学生男女、中学生男女、一般男子の部に331名が出場しました。

小学校駅伝の男子の部では、1区から抜け出した豊玉小Aチームが、6区間全て1位でタスキを渡して優勝しました。女子では、鶏鳴小Aチームと豊玉小Aチームが激しく競り合いましたが、最終区6区で競り勝った鶏鳴小Aチームが優勝しました。

ロードレースでは、小学生男子、中学生女子、一般男子、同40歳以上で新記録が誕生し、選手皆さんの練習の成果が表れたレースでした。



一般男子の部のスタートの様子

大会結果

【小学生駅伝】《男子》

玉A（中庭拓洋、井村健太、中屋栄一朗、浅野凱、齋藤準基、小宮慶祐）39分55秒 鶏鳴A 40分49秒 比田勝 41分17秒 大船越 41分19秒 厳原 42分25秒 久田 42分30秒（1区間賞） 1区（4年1.8km）中庭拓洋（豊玉A）6分32秒 2区（フリー1.8km）井村健太（豊玉A）6分13秒 3区（5年1.8km）豊田恵介（鶏鳴A）6分32秒 4区（フリー1.8km）浅野凱（豊玉A）6分29秒 5区（フリー2.0km）瀧本泰敬（佐護）7分08秒 6区（6年2.0km）

原野真維（南）6分50秒

《女子》 鶏鳴A（川上綾香、中野まどか、西本彩香、田中彩、小宮彩、俵菜奈美）38分29秒 豊玉A 38分52秒 仁田 39分17秒 比田勝 39分24秒 塩浦 39分26秒 北 39分44秒（区間賞） 1区（4年1.6km）井川 祐香（北）6分06秒 2区（フリー1.6km）中野まどか（鶏鳴A）6分00秒 3区（5年1.6km）辻香穂（比田勝）6分04秒 4区（フリー1.6km）阿比留理恵（厳原）6分09秒 5区（フリー1.8km）中村恵夢（北）、佐々木ひとみ（豊玉A）（同タイムのため2名）6分45秒 6区（6年1.8km）中村衣折（仁田）6分36秒

《小学生男子1.6km》 日下部将志（今里）6分30秒（新） 明井将吾 塩浦（6分42秒）（新） 梅野貴博（鶏鳴）6分44秒（新） 田中達也（鶏鳴）6分46秒（新） 八重島和将（厳原）6分48秒（新） 平山友樹（大船越）6分51秒《小学生女子1.6km》 国分ひかり（豊玉）6分14秒（タイ） 須川英里子（乙宮）6分17秒 阿比留真珠 比田勝（6分19秒 田中里奈（豊玉）6分21秒 小山渚（南）6分23秒 阿比留妙（厳原）6分27秒《中学生男子3.0km》

瀧川大和（厳原）9分26秒 島本大地（雞知）9分28秒 堀江和博（仁田）9分28秒 鈴木晴大（厳原）9分36秒 本堀亮太（豊玉）9分38秒 川上将知（厳原）9分47秒 《中学生女子3.0km》 田村望（厳原）10分36秒（新） 岡村夏樹（対高）10分36秒（新） 田中未来（雞知）10分40秒 川上瑞希（対高）11分01秒 小林唯（対高）11分18秒 田中明日香（対高）11分51秒 《一般男子10km》 土肥正幸（対馬南警察署）32分15秒（新） 沖中義明（対馬北警察署）33分10秒 大森常正（厳原町）33分40秒 坂田裕也（対馬高）34分59秒 西本吉孝（対馬支庁）35分19秒 仁田水進（陸上自衛隊）35分45秒《一般男子40歳以上10km》 内山徳博（陸上自衛隊）35分48秒（新） 洪江龍也（美津島町）43分34秒 松田敬介（海上自衛隊）44分17秒 松本藤昭（南小学校）47分13秒 佐藤昌孝（厳原小学校）53分05秒 大平英明（海上自衛隊）53分53秒

上対馬町 ロードレース大会

11月21日、上対馬町体育協会主催の第20回上対馬町ロードレース大会が開催され、小学生155人、中学生78人、高校生3人、一般11人、家族申告3組6名の計253人が健脚を競いました。

比田勝小の扇尚吾君による力強い選手宣誓のあと各レースが開始され、選手たちの力走に、沿道の応援も盛り上がりました。

この大会では、小学1年女子（0.8km）の西村綾さん（比田勝小）、小学5年女子（1.5km）の辻香穂さん（比田勝小）が大会新記録を達成しました。



師走の対馬路を駆け 対馬縦断駅伝大会

師走の対馬路を、比田勝から厳原までの13区間、91.4kmを走る「第44回対馬縦断駅伝大会」が、12月12日に開催されました。

男子の部(8区間79.1km)には町体協の部に6チーム、団体の部に6チームの12チームが参加。女子の部5区間12.3km)には、各町体協と対馬高校、豊玉高校の8チームが参加しました。

比田勝港ターミナル前の国道に白線が引かれ、午前8時の時報に合わせて、男子の部のスタートが切られました。今年は風もなく絶好の駅伝日和で大会が行われ、新記録が4、タイ記録が1、躍進賞1が誕生しました。

記念すべき対馬市誕生の年に優勝したのは、町体協の部では平成元年以来15年ぶりとなる美津島町チーム。団体の部は陸上自衛隊チーム。女子の部は美津島町チームで、男子とアベック優勝を飾りました。

また、前年記録から男子10分、女子3分以上短縮したチームに贈られる躍進賞を勝ち取ったのは対馬高校女子チーム(3分02秒短縮)でした。



終始トップでタスキをつなぐ陸自チーム



区間トップの快走阿比留選手(美津島)

大会結果

《男子の部・町体協の部》

美津島町(田中淳也、井貴詞、賀嶋雅也、阿比留勇次、阿比留章好、黒岩洋介、中庭俊樹、久田隆) 4時間51分46秒
上県町 4時間54分22秒
厳原町 5時間00分21秒

《男子の部・団体の部》

陸上自衛隊(犬塚信之介、江口大修、日高久朋、石丸勝光、藤川彰、二田水進、日高善治、坂元正博) 4時間36分32秒
対馬高校 4時間55分10秒

秒 対馬市消防本部 5時間02分14秒

《女子の部》

美津島町(川上菜月、小島友梨恵、田中未来、長瀬沙也加、末永千草) 44分32秒
対馬高校 45分05秒(躍進賞)
厳原町 45分49秒

「区間賞」

1区 10.4km 犬束信之介(陸自) 33分31秒(新)
2区 8.2km 江口大修(陸自) 29分20秒
3区 11.4km 沖中義明(上県) 37分09秒(新)
4区 12.0km 阿比留勇次(美) 41分05秒
5区 2.5km 川上菜月(美) 8分31秒(タイ)
6区 2.1km 小島美奈子(対高) 7分13秒
7区 2.7km 田中未来(美) 10分17秒
8区 2.5km 小林唯(対高) 9分09秒
9区 2.5km 川上瑞希(対高) 8分32秒
10区 6.0km 藤川彰(陸自) 21分21秒
11区 10.6km 二田水進(陸自) 34分55秒
(新) 12区 8.7km 日高善治(陸自) 31分24秒
13区 11.8km 坂元正博(陸自) 41分21秒
尚、1区2位の大森常正(厳)選手も33分43秒で大会新記録でした。

親子で楽しく オリエンテーリング!

11月27日、教育委員会上県事務所主催による第1回オリエンテーリング大会が、佐須奈地区で開催され、小学生、保護者ら約130名が参加しました。

オリエンテーリングは、地図とコンパスを頼りに、ポイントを発見して進み、ゴールした時の所用時間や得点を競う競技で、参加者は4、6人ずつ20組に分かれて、8ヶ所のポイントを探しながら、約5kmのコースを、2時間45分の目標タイムでゴールを目指しました。



ポイントで出されたクイズに挑戦

上対馬町 少年の主張大会

12月5日、上対馬総合センターで、対馬市教育委員会及び上対馬町青少年健全育成連絡協議会主催の第14回上対馬町少年の主張大会が開催されました。

この大会は、児童生徒が日常生活の中で何を感じ、何を考えているのか、社会の中で自分の果たすべき役割は何かなどを発表するもので、町内の各小中学校、上対馬高校の代表16名がステージで堂々と意見発表を行いました。

審査の結果、最優秀賞を受賞したのは、小学生の部で、「私の大切な弟」と題して、障害を持つ弟のことを周りの人たちに理解してもらいたいと発表した比田勝小の菅野真帆さん。中学校の部は、「韓国交流」と題し、韓国の中学生と交流して感じたことを発表した南陽中学校の久壽米木晶子さん。高校の部は、「思わぬ環境の変化」と題して、地球環境を守るために人は何をすべきかを発表しました。

美津島町 少年の主張大会・ 中学生英語発表会

12月5日、美津島文化会館で美津島町少年の主張大会・中学生英語発表会が開催されました。

少年の主張大会は、美津島地区内の小学生6名と中学生7名が発表をし、小学生の部では、「交流会で学んだつながり」という題名で、外国人との交流会をきっかけに、自分ができる国際交流について発表した鶏鳴小学校6年の阿比留早希さんが、最優秀賞を受賞しました。



中学生の部では、「心の望

上県町青少年を 考える会研修大会

遠鏡」という題名で、人を見た目で判断するのをやめて、素直な心で受け止めようと発表した浅海中学校2年の橋本このみさんが最優秀賞を受賞し、2月20日、対馬市公会堂で行われる対馬少年の主張大会に、優秀賞受賞の難知中学校1年齊藤美和さんと2人で出場します。英語発表会は、各学校が会場の保護者や学校関係者などを楽しませる内容で絵を交えるなど工夫をした発表でした。



11月21日、第25回上県町青少年を考える会研修大会が上県地区公民館で開催されました。

この研修会は、上県町青少年健全育成連絡協議会の主催で、子どもたちの健やかな成長を地域・町ぐるみで取り組もうと毎年開催されているもので、今年も保護者・育成会関係者約200名が出席しました。午前中は、県立成人病センター多良見病院副院長・賀来俊先生の「みんなで無煙世代を育てよう」の講演があり、タバコの害の怖さの説明と、無煙世代を育てる必要性を講演されました。タバコの害は身近な問題でもあり、参加者は真剣に聞き入っていました。

午後からは上県町少年の主張大会が開催され、各地区育成会の小中学生、高校生の代表者計11名が体験を通して考えていること、将来の夢、環境問題などを発表し、このうち中学生の部で、優秀賞を受賞した久原中2年、早田雄彦君と佐須奈中2年、三宅綾さんの2名が、対馬市少年の主張大会に選出されました。また、審査の合間の英語発表会では各中学校が思考をこらした発表を行い、観客から盛んな拍手が送られていました。

保育所おゆづぎ会

12月5日に泉保育所（園児26名）、12日には比田勝保育所（園児58名）のおゆづぎ会が行われました。

この日のために一生懸命練習してきた園児たち。本番のステージでは泣き出したり転んだりとハプニングもありましたが、堂々と演技を披露しました。園児のかわいらしい姿に詰めかけた観客からは拍手喝采でした。



泉保育所



比田勝保育所

しんき節全国大会



11月28日、対馬に古くから伝わる民謡「しんき節」の全国大会が対馬市公会堂で開かれました。

「ホー ダダダダ サツサ 歩まにや 戻つてぞうずは飲ませんぞ」などのせりふが入っているしんき節は、野良仕事の帰りに対州馬に語りかけるように歌われた対馬を代表する馬子唄です。

対馬島郷土芸能保存会(会長 俊会長)では、「正調しんき節」として多くの人に知ってもらおうと毎年大会を開いています。

今年も日頃から練習を積み重ねた皆さんが、尺八と鈴の音に乗せて自慢ののどを披露しました。

当日は、「対馬島郷土芸能発表大会」「黒潮日本民謡選

手権大会」も開かれ、太鼓や盆踊り、民謡など対馬各地の郷土芸能も披露されました。

【大会成績】

「第12回正調しんき節全国大会」 優勝者＝浜崎郁恵(上対馬)

「第5回黒潮日本民謡選手権大会」 優勝者＝阿比留義孝(豊玉)

「川端どげえ市」がオープン

12月12日、「川端どげえ市」がオープンしました。陶器等の創作品から醤油・野菜まで地元から産まれるものを取り扱う店です。

最近、全国各地の中心市街地の共通した重大な問題として、「空洞化現象」が叫ばれています。対馬島内も例外ではなく、かつては島内屈指の商店街だった厳原町川端通りも空き店舗や店舗などの解体が行われ、かつての活気がなくなってきました。

そこで、中心市街地元気再生協議会(浦田一朗会長)のメンバーが中心になり、今年度から空き店舗対策の一環としてオープンしたものです。

住民の皆さんがもつ技術や創作品などを展示し即売することで、作る人の創作意欲を高め、新たな資源(人や技術等)の発掘をかねて実験的に実施したものです。

年々寂しくなる川端通り商店街活性化の起爆剤として大いに期待されます。



航空機災害訓練

12月1日、対馬空港で「航空機が着陸に失敗し、火災が発生した」という想定で火災消火訓練が実施されました。

これは、長崎県営空港航空機災害等対策要綱に基づくもので、自衛隊や医療機関、対馬消防本部地元消防団など関係機関が災害事故に対して迅速

かつ的確な消火救難業務を行うために実施されたものです。



第13回対馬物産市



12月5日、上対馬町比田勝港埋立地で、対馬観光物産協会主催の対馬物産市が開催されました。

これは、対馬島内の方々に地元特産品を広く紹介・販売し、北部対馬地区の商業活性化を図ることを目的に開催されたも



ので、寒ブリなどの鮮魚や野菜、とんちゃんなど、地元特産品の販売は開店と同時にたくさんのお買い物が賑わいました。

また、福岡へのジェットフオイル往復乗船券など豪華賞品が用意されたお楽しみ抽選会も行われ、イベントの目標である売上げ150万円、集客800人も達成しました。

体育指導委員で全国表彰

11月18・19日に、兵庫県姫路市で開催された全国体育指導委員研究協議会で、対馬市体育指導委員協議会副会長の佐護哲也さんが、全国体育指導委員連合・体育指導委員功労者表彰を受賞しました。

佐護さんは、昭和49年4月1日に、旧上県町の体育指導委員に任命されてから、現在まで30年間委員を務め、社会体育の発展に尽力されてきました。